

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」  
令和5年度（2023年度）授業研究セミナー

## 道央・国語 実施報告



令和5年12月14日（木）、北海道石狩翔陽高等学校を会場に「国語科における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）」をテーマとして、道央・国語の授業研究セミナーを開催しました。オンライン参加者を合わせて15名の参加がありました。本講座の実施内容等を紹介いたしますので、授業改善の参考資料として御活用ください。

### 実施状況

#### 【研究授業】北海道石狩翔陽高等学校 嶋村直哉 教諭

2年次「文学国語」の「読むこと」の領域の単元「月が象徴するものをいろいろな角度から読み取ろう」について研究授業を行いました。本時では、本時の目標（知識・技能）「文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる」を実現するために、特にメタファー（隠喩）



に着目しています。具体的には、「月」がメタファーとして描写されている文学作品を読み、作品の中で「月」は何を表象しているのかについてグループで話し合いました。まず、夏頃に学習した『山月記』の振り返りから始まり、簡単な質問によりメタファーが身近にあることに気付かせました。次に、宮澤賢治の『オツベルと象』を題材として、作品の中で「月」が何を表象しているのかを考え、グループごとに解釈をまとめさせていました。

なお、本校の「文学国語」は完全ペーパーレスで実施しており、教師が課題の配布や質問の回答などを端末で行ったり、生徒が本文中の分からない言葉を端末で調べたりする姿が頻繁に見られました。

#### 【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、授業者1名、協力員3名（道立高校教諭）、道教委指導主事2名から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案検討会を3回実施しました。

○ 検討会で出された意見

- ・「月」が表象しているものについて考えるとき、教員の作為が働いて、生徒の発想を制限しないようにする必要があるのではないか。
- ・本単元の評価は、「月」とは異なるモチーフがメタファーとして描写されている文学作品を読み、それが何を表象しているのかを解釈できるかで見るとよいのではないか。

## 【研究協議】

研究協議実施後に、「本時の目標に対する生徒の学びの姿及び教師の指導について」及び「本単元の目標に対する生徒の学びの姿及び教師の指導について」を柱として、研究協議を行いました。

### (1) 学習指導案検討会から当日までについて

3回の指導案検討会で検討したのは、研究授業を予定していた第2次（1単位時間）でした。しかしながら、研究授業の直前に諸事情により、第1次（1単位時間）で研究授業をすることになったため、授業者には急遽、第1次の学習指導案を作成していただきました。

そのため、参加者のお手元には、単元の指導と評価の計画、第1次の学習指導案、第2次の学習指導案がある状況で当日を迎えました。

そこで、授業参観の前に、運営者から第1次の授業と第2次で実施予定の授業のとの繋がりを意識して参観していただくことを伝えるとともに、午後からは、各次のつながりを踏まえた研究協議を実施しました。

### (2) 参加者から

- ・単元の中で、一単位時間の授業の繋がりを意識した指導計画が参考になった。
- ・グループ協議で、生徒の発言に対して一歩踏み込んで考えるよう促す、授業者の声掛けや発問が参考になった。

[第一次指導案リンク](#)



[第二次指導案リンク](#)



[単元の指導案リンク](#)



## セミナー参加者の声

### 【参加者の声（アンケートから）】

- 生徒が主体の学習活動であり、それを支える授業者からの効果的な働き掛けがあった。
- ジャムボードやアンケートの活用など、自分が行ったことのない方法を用いた授業を知ることができて勉強になった。
- タブレットの活用が、生徒の主体的な学びを充実させることに有効であると実感できた。
- 授業の導入で、生徒に興味を持たせる仕掛けの工夫が大切であると実感できた。
- 生徒同士が話し合い、教員の予想を上回る解釈をまとめていたのを目の当たりにし、協議のプロセスを設定することは効果的であると再認識することができた。

### 【アンケートの結果（一部）】

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 1 ICT（1人1台端末）を活用した効果的な学習指導に関する理解は深まりましたか。 | 2 今回のセミナーは、あなたの今後の授業改善に役立ちますか。 |
| ・大いに深まった 60.0%                            | ・大いに役立つ 60.0%                  |
| ・深まった 40.0%                               | ・役立つ 40.0%                     |